

豊かで 伸びやかに そしてたくましく



スカウト み や ぎ

No.23

発行

日本ボーイスカウト宮城県連盟

発行日

平成21年10月30日



団運営研修所 宮城第8期開設

アダルトリソーシス委員長 中橋 邦

団運営研修所宮城第8期が、10月10日から12日まで、石巻市河南町旭山農業体験実習館にて、佐藤友秀所長のもと、女性1名を含む参加者12名により開設されました。

参加された12名は仙台第1団・仙台第11団・仙台第12団・仙台第28団・名取第1団・泉第1団・多賀城第2団・塩釜第1団・石巻第6団、各団の団委員長、団委員、隊指導者の皆さんです。

初日はスカウト運動の基本原則や、スカウト運動における成人に関する方針といった、スカウティングと組織運営基本に関する内容、二日目は団の組織と団運営者の役割、現状分析と課題の抽出、団のビジョンと中期計画などの団の運営の中核部分に関する内容、三日目は団と安全、よりよき団運営者を目指して、といった今後の取組みに向けた内容でした。

参加された12名の研修意欲は終始旺盛で、それぞれが自分の団の「これから」を考えて活発な意見交換が行われました。それぞれの団の状況や改善の方向について、休憩時間にも様々な情報交換が行われ、非常に充実した時間であったと思います。

団はスカウトの教育とともに、地域社会の最前線でこの運動の普及を担う基本単位であり、団委員の皆さんの役割は非常に重要なものです。この研修に参加された皆さん、それぞれの団で今回の研修の成果を発揮して頂けるであろうことを確信しております。

2009年度 東部地区ビーバーランド IN桂島

多賀城第2団 伊藤 恵美

平成21年6月21日(日)、浦戸諸島の桂島にて「東部地区ビーバーランド2009」を開催しました。当日は梅雨前線が発達中で、どう考へても雨は避けられない!という状況下ではありましたが、東部地区(泉・塩釜・鹿島台・多賀城)のスカウト、ご父兄、リーダー等 総勢74名が参加して大いに盛り上がりをみせました。

塩釜桟橋から桂島までの約20分。船に乗って島へ移動。カモメ用の「かっぱえびせん」を、思い思いにあげました。みんな空中に投げていましたが、中には口にくわえたり、手に持ったり、自分の口に入る方が多い人も・・・?

「ビーチコーミング」で、砂浜にある好きなものを拾い集めて世界に1つだけの「フォトフレーム」作りをしました。拾い集めたものを全て貼り付けたいのが子供心。ご父兄やリーダーは大変だったようです。地元のおばあさん(?)の感情のこもった昔話を真剣に聞き入っているところへサプライズで赤鬼登場!ビックリして怖がるどころか、みんな大喜び!追っかけ回したり、新聞紙を丸めてぶつけたり・・・赤鬼さんは汗だくでした。また、おやつは「宝探し」風に当たりくじを入れて楽しみました。ラッキーな3人には、おやつの他に手作りの素敵なチーフリングがプレゼントされました。

使用した体育館は最後にみんなで掃除。「来た時よりもキレイに。」して帰ってきました。

1日中、雨が降るあいにくの天気でしたが怪我もなく無事終了しました。また来年もみんながニコニコ顔になる楽しいプログラムをみんなで考えたいと思います。

はじめてのビーバーランド

多賀城第2団ビーバー隊 千坂涼夏

ビーバーランドで、かいがらをひろったり、あるいはいたり、しゃしなたてに、かいがらをつけたり、おふねにのったり、たのしいことがいっぱいでした。

もっとたのしくしていきたいです。



石巻地区3人目のスーパーカブ誕生

石巻地区組織広報副委員長 森澤 達夫

昨年地区40周年を迎えて、待ちに待ったスーパーカブが誕生した。カブスカウトのがんばりとカブ隊長の努力にエールを送る。今回は3人目のスーパーカブを取得した石巻第6団の古賀慶太郎君「楽しかったカブの思い出」を紹介します。

ぼくが三年間のカブで思い出に残ったのは、入団式とキャンプです。転団する時は、とても不安でした。でも6団のカブのみんなは入団式後、ぼくをすぐにかくれんぼや、鬼ごっこに入ってくれたのでうれしかったです。また、活動の中ではキャンプが一番楽しかったです。ぼくは三人の友達を紹介して、友情バッヂをもらいました。友達をさそって入ってくれた時と表彰された時はとてもうれしかったです。チャレンジ章を取るために、本にのっていないことは市役所に行って聞いたりしたことで、いろいろなことを知ることができました。このことで改めて調べたり、人に聞いたりすることは大切なことだと思いました。チャレンジ章の中でも、なかなか魚がつれなかったフィッシュヤーマンは、とても大変でした。チャレンジ章を全部取ってスーパーカブになることができたのは、隊長や、周りの人そしてお母さんのはげましがあったおかげだと思います。カブで体験した経験を生かしてボーイ隊でもがんばりたいです。そして、仲間とたくさんの思い出を作っていきたいです。



富士スカウト誕生

面接実施日：平成21年8月30日

会場：ボイスカウト宮城県連盟事務所

面接員：芳賀文蔵県連理事長・佐藤友秀県連プログラム委員長

千葉義博県連コミッショナー・鈴木幸一 県連プログラム委員

オブザーバー：菊池彬夫仙台地区委員長

岩沼第1団ベンチャ一隊 大村 健人

自分はベンチャ一隊に在籍できる最後の年にやっと富士章を取得することができました。

富士章を取得しようと決めてからは、自分が興味のある分野に関連する技能章をハンドブックで調べました。また、他団の友人たちと一緒にプロジェクトを企画し、プロジェクトアワードの取得もできました。自分が多くの技能章やプロジェクトアワードを取得できたのは、仙台地区やその他の団のスカウトやリーダーたちとの活動があったからだと思います。そのなかでもプロジェクトの100kmハイクでは、福島県のスカウトと交流を図ることができとてもよい活動であったと思います。

最後に、富士章はゴールではなく通過点なのだと多くのリーダーに言われました。自分もその通りだと思います。これからは自分が今まで学んだことを生かし、自分の活動もさることながら後輩の教育・指導などにも力を入れて行きたいと思います。

富士スカウト認定証No.1953

大村健人君スカウト歴

平成12年9月 カブスカウト入隊

平成13年9月 ボーイスカウト隊上進

平成14年7月 菊スカウト

平成19年8月 ベンチャースカウト

大会参加歴

第9回神社スカウト全国大会

第13回日本ジャンボリー

第8回仙台地区キャンポリー

表彰

平成21年1月 神道スカウト褒詞



なかだ篝火コンサート

仙台第28団団委員長 今野 利夫

仙台市太白区中田町で恒例となった、夏の名残の宵まつり「なかだ篝火コンサート～美しい歌声を名曲とともに～」と銘打って、9月19日（土）午後6時から中田神社境内神楽殿で行われ、仙台市出身の菅野静香さんの伴奏により、同じく仙台市出身のメゾソプラノ歌手の後藤優子さんが、幅広い層まで楽しめる名曲を聴かせてくれました。

舞台の神楽殿前には、当団柿沼育成会長が流木に秋の山野草を寄せ植えした作品を展示、境内には篝火や竹灯籠を配置し、会場内は幽玄な雰囲気の中で歌声が響き渡り、会場内は美しい歌声にうつとりしながら聴き入っていました。

当28団は「篝火コンサート」には、ボーイ隊の中学生以上のスカウト及びリーダーが会場内に配置された、篝火（4台）や竹灯籠の灯りの維持管理に毎年協力をしています。



多賀城第2団 団キャンプ

多賀城第2団カブ隊副長 村上 誠一

今年の団キャンプは、8月29・30日、本吉郡志津川町の神割崎キャンプ場で実施しました。

キャンプ初日、早朝から降っていた雨も出発後には上がり、神割崎に近づくにつれて雲の隙間からお日様と青空が、覗いてきました。キャンプ場到着、テント設営後に海辺での活動に移りました。8月末で海水は、冷たかったです、スカウトたちは、冷たさも気にせず海に飛び込み泳いだり、海辺の動植物の観察をしたりました。夕食は、バーベキューをしました。みんなすごい食欲で、用意した肉が足りなくなるほどでした。その後キャンプファイヤーで各隊の出し物をして盛り上りました。

二日目は、大自然が、創り上げた壮大な海岸美を探索しながら神割崎を見学して、スケッチをしました。この日は、低気圧の接近により波が少し高かったために神割崎の二つに割れた奇岩の間

からの荒波には、迫力満点でした。その後キャンプ場に戻り昼食後スカウトたちは、海辺で泳いだりして夏の思い出を身体いっぱい感じていました。



育成会によるスカウト活動のキャンペーンと支援

泉第2団 大泉 雅弘

泉2団の育成会は、母体であるMOAのご協力のもと秋の教団行事に合わせたバザー・模擬店をご案内し、開催してきました。今年は、10月4日（日）11時から、MOAセンター会館前での実施となりました。

主旨はスカウト活動のキャンペーンと支援です。

育成会副会長、団委員、スカウト父兄は午前8時から駐車場のコーナー確保、テント設営、おでん、うどん、コーヒーコーナーの設置、バザー売り場、食券売り場設置と大忙しです。

バザーのコーナーでは、スカウト達が育成会、

父兄提供のバザー品に値付けを楽しみ、品名・値札作りに趣向を凝らし、商品配置の工夫を楽しんでいる。

開催時間を持ちきれずに集まる人もいます。品定め？？

コーナーの表示はA4の紙のれん。泉2団の誇る画伯？？とスカウトが「食券売り場」、「うどん」、「おでん」、「コーヒー」4枚を作製、見事な出来栄えです。

今年は好天にも恵まれ、大盛況でした。

この「バザー・模擬店」は毎年楽しみにしている方もおられ、好評です。

ベンチャーキャンプ

仙台地区ベンチャー活動活性化プロジェクトチーム 菅野 宏彦

台風一過となった9月20日から22日の2泊3日で、七ヶ浜町の馬放島という無人島で仙台地区のベンチャースカウト6ヶ団8名が参加し、サバイバルキャンプが開催されました。今年4月の夏季計画の中で、釣りがしたい、サバイバルがしたい、浜辺でキャンプがしたいというニーズから、スカウト自身による企画、運営で毎月話し合いが持たれ、事前訓練として、閑上海岸で釣りの練習、安全管理と救急法についての勉強会、そして備品の手配、食料の買出しと全てがスカウトの手で行われました。当日は船で島に渡り、夜遅くまで釣りをしたり、島を探検したり、太陽熱を利用してゆで卵作りに挑戦など、それぞれが個人プロジェクトに挑戦し有意義なキャンプを堪能しました。このキャンプには県連盟の村上理事をはじめ多くの方にご支援いただき改めて感謝と御礼を申し上げます。

泉第1回団合同行事 カブスカウト隊 座禅会

泉第1回 砂押 名湖

団合同恒例行事の座禅会を、平成21年7月5日（日）泉区山の寺にある緑に囲まれた洞雲寺で実施しました。

早朝とはいえスカウト達はみな元気に集合し、本堂前で開会セレモニーを行いご住職のお話の後、スカウトをはじめ、指導者、団委員そして保護者の方々と一緒に座禅をしました。

座禅は短い時間ではありましたが貴重な体験ができました。

カブスカウトの感想を紹介します。

3組 組長 水谷月音（みずたに かのん：くま）

ぼくたち泉1団は、山の寺洞雲寺で座禅をさせてもらいました。座禅では15分でしたが、とても集中できてよかったです。

座禅がおわってからお坊さんにこういう話をききました。

「あるお坊さんがじごくの世界とごくらくの世界をのぞきました。さいしょにじごくの世界をのぞくとちょうどお昼でした。みんなすぐに左手をくくりつけられて右手に長いスプーンがありました。すると長いスプーンで自分のものをすくってたべようとすると、とどかなくてたべられませんでした。次にごくらくの世界をのぞくとこちらもお昼でした。たべはじめると自分のものをすくい、むかいの人の口にいました。するとあいても自分の口にいれてくれる。なんでも自分ができればいいというのでなく、あいてをおもいやる心が大切ですよ。」という話をきいてなっとくしました。

きちょうな体験ができてよかったです。

1組 次長 後藤章吾（ごとう しょうご：くま）

僕は、山の寺洞雲寺で座禅会をやりました。今回の座禅会は、とても勉強になりました。それは、おじょうさんのお話です。地獄は食事の時みんな食べられず、極楽は助け合いみんな元気で食べています。ぼくは、この話で自分の事よりも、まず先に人の事を考えることが大事だということを聞き、感動しました。

ぼくは、次からこの話を生かしてボイスカウト活動をがんばりたいです。

3組 次長 斎藤清大郎（さいとう せいたろう：くま）

僕は、洞雲寺というお寺に、カブスカウトの活動で行きました。活動内容は座禅です。座禅は、あぐらを反対にして足を組み、瞳は1メートル先を見て、背筋を伸ばして行います。座禅の時間は、約15分～20分ていどです。始まりの鐘が「カーンカーン」と鳴り座禅スタート、耳をすませば色々な音が聞こえてきました。

座禅が終わると、和尚さんからこんなお話がありました。地獄と極楽についてです。内容は、一人の男の人が地獄を見に行き、その地獄では食事中でした。目の前いっぱいに食事がならんでおり、地獄ですから、手はなわでしばられていて、スプーンは長く、口の所までもつてくるのですが、スプーンが長いもんですから、食べ物があと少しという所で落ちてしまいました。

そんな様子を見ていた男の人は「次は、極楽はどんなもんか見に行こう。」ということで、次は極楽を見に行きました。そしたら、また食事中で、でも地獄と同じで手はなわでしばられていて、スプーンも長いのですが、むかいの人に食べ物をスプーンですくって食べさせてあげました。男の人は、極楽と地獄のちがいはたすけ合うことだと思った、というお話しでした。

僕もこれからたすけあって生活していきたいです。



カブ隊・合同フレンドシップキャンプ

石巻6第団カブ隊副長 本田 秀之

7月19～20日、1泊2日の日程で塩釜第1団CS隊と石巻第6団CS隊とで、石巻市河南地区旭山コロボックルハウスで合同舎営キャンプを行いました。

初日スカウト達は緊張の中で開会セレモニーを行い、その後のゲームを通して少しあはリラックスをした中での混成隊の発表!! スカウト達はドキドキです!!

お昼を食べながらDLを中心に行なったコミュニケーションタイムの後、午後のプログラムのハイキング。一時どしゃ降りの雨に合った物の各組ともなんとか無事にゴールをする事が出来ました。

夜のキャンプファイヤーでは、山賊が現れたりと楽しい演出もあり、又スタンツ、ソング等で盛り上りました。

2日目は、工作（写真スタンド作り）、各自工夫を凝らして様々な物が出来上がりしました。その

後、組対抗クッキングコンテストを行い（テーマ、鶏肉料理）思っていた以上の出来映えにリーダー達もビックリ!! 昼食として皆で美味しく頂きました。

2日間の活動でしたが、スカウト達は勿論のことリーダーや保護者の交流を深める事も出来て有意義な時を過せた事に感謝します。



野外活動祭り

10月12日（祝）朝から晴れ渡りまさにイベント日和に、「レトロフェスタ&鍋食べまくり」が白石市の中央通商店街歩行者天国で開催され、それに併催してのボーイスカウト野外活動祭が開催されました。開会行事のあと、このイベントの中心的役割を担うボーイ隊は、まず直火2つと炭火2つの用意にかかります。まず、ドラム缶を半分に切ったカマドで火を起こし、次に山賊焼きと名づけられたちゃんとちゃん焼きの準備をします。焼ける間に、ビーバーとカブ隊は参加者の皆さんとさつまいもを焼いたり、マシュマロを焼いて食べてたりしていました。ここでボーイ隊は350mlのアルミ缶に米を入れ炊飯をし、多いに注目を浴びていました。缶切りで缶を切るのには戸惑っていましたが、慣れてくるにつれ上手にできるようになっていました。

白石第1団ボーイ隊副長補 佐藤 慶太

ご飯は全部成功し山賊焼きなど、秋の味覚を味わいました。だてに夏の野営、卒隊キャンプと2ヶ月続けて火起こしをやったわけではなく、リーダーとしても達成感を感じられる出来事になりました。



編集後記

山の紅葉も色さえる頃、薬来山を背に薬師の湯の一室を借り、スカウトみやぎ23号の最終編集会議を開く。前委員長の堀越さんも同席、半年振りに元気な姿での再会、共に喜び合う。

道端に咲いているコスモスの花が、ゆく秋を惜しむかのように風にゆられていた。迫り来る冬の到来に、一日でも長く咲き続けてほしいと願いつつ帰路についた。（スカウト達も、ボーイスカウト活動を一日でも長く・・・。（柿）

■ 発行 日本ボーイスカウト宮城県連盟

■ 編集 宮城県連盟広報委員会

委員長 柿沼富雄

委員 棚澤達夫 大沼茂雄

砂押名湖 大友和弥

〒985-0841

宮城県多賀城市鶴ヶ谷1丁目4番1号

宮城県多賀城分庁舎内

TEL 022-355-6265/FAX 022-325-6267

■ 印刷 株式会社小野寺印刷所